

産業能率大学 経営学部

ベンチャーファイナンス	履修年次	3・4	
	単位	2	
齊藤 聡	配当期	前	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
授業の内容			
<p>「授業の概要」 授業の時間配分は、全体の約 1/2 をファイナンス理論に、残り 1/2 をベンチャー企業や成長企業の事例紹介の時間に当てる。事例紹介は、過去の偉人たちのマネジメントからその共通点を探り、最新の事例からその応用事例を探る。映像資料を多用し、難解な数式は使わない。授業外学習の予習・復習には、manaba を利用する。 NPO 法人や行政機関を巻き込んだソーシャルインパクトファンド等の最新の金融の動きについても触れる。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の資本主義の仕組みを理解し、アイデアを実現するための資金調達について理解できる。 ・ベンチャー企業と投資家の負担するリスクを理解し、現実の法的制度に関連付けることができる。 ・企業の血液となる資金の流れ方を理解し、経営管理に役立てることができる。 			
成績評価の方法			
授業外学習、課題提出、授業出席により総合的に評価する。社会人に必須となる基礎的なファイナンス知識の理解度を評価する。金融のしくみの全体像を理解し、起業家と投資家の資金の流れをとらえ、経営に役立てる能力を評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	資金調達とは何か	8	発想の組み合わせノウハウでの成功事例
2	ファイナンスの基礎金融・株式市場	9	市場の変動要因リスクとヘッジ
3	金利の決定方法分散投資とリスク管理	10	最適な資産配分
4	ベンチャー企業向けのファイナンス	11	新技術で成功したベンチャー企業の具体例
5	企業の価値の尺度先物とオプション取引	12	オプション価格の決定理論
6	分散投資で減らせるリスクとその限界、保険	13	市場の効率性について
7	リスク回避とその手段裁定取引のしくみ	14	日本のベンチャーキャピタルとその課題